

令和8年9月吉日

各教育委員会 様
各 学 校 長 様
関 係 各 位

目黒区教育委員会教育長 高橋 和人
目黒区立月光原小学校校長 岩前 真

令和6～8年度 文部科学省研究開発学校
令和8・9年度 目黒区教育開発指定校

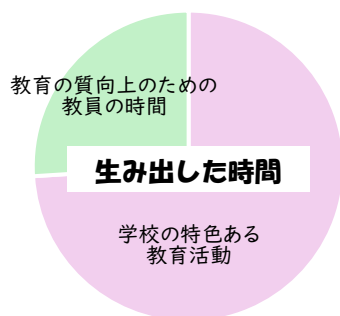
研究発表会のご案内【最終】

「40分授業午前5時間制」を生かした 創意工夫ある教育課程の開発

研究主題

自立した学習者の育成

～「個別最適な学び」の充実を目指した指導の在り方～



子どもの学校生活を豊かにする **マイ光プラン(自己選択学習)の充実**

個の資質・能力を育てる **授業改善(複線型を取り入れた授業づくり)**

子どもの育ちをつなぐ **幼児教育との連携**

自己調整力・自己肯定感

令和8年10月22日(木) 受付 13:15～

13:15	13:45	14:25	14:40	15:05	15:20	16:10
受付	公開授業 全学年 げっこうはらこども園	移動 マイ光プランの紹介	研究発表	質疑・応答	講演	謝辞

〈講師〉 明星大学特任教授 相原 雄三 先生

【略歴】

元文京区立関口台町小学校 校長
元東京都多摩教育事務所 指導課長
元東京都教職員研修センター 教育開発課長
元八王子市教育委員会 指導担当部長



研究発表会の
申し込みはこちら



本校 HP はこちら

目黒区立月光原小学校
〒152-0002 東京都目黒区目黒本町4-15-3
TEL:03-3714-2694 FAX:03-3714-3260

○マイ光プランについて

公開授業のあと、体育館にて「マイ光プラン」の子どもたちの様子を写真や動画で紹介する予定です。

○当日の公開授業について

複線型モデル

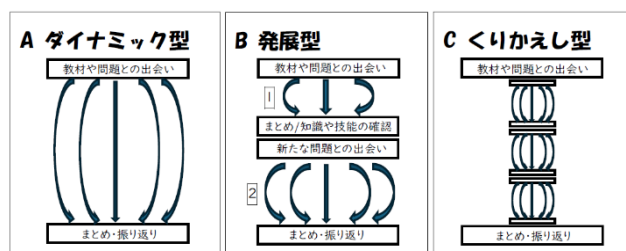
本校では、授業改善の方法の一つとして子ども一人一人が自分らしさを生かして学習を進められるよう【複線化】を取り入れた授業づくりを行っています。【複線化】の場面をどのように取り入れていくかによって、A・B・Cの大きく3つの型に分け、学習過程を計画しています。

個人間差異

〈興味・関心〉や〈学習スタイル〉など子ども一人一人の個人間差異に着目することで、児童理解を深め、学習の中に【複線化】をどのように取り入れていくかを考える要素の一つとしています。

自己調整を促すための場面

子どもたちの自己調整力を高めるために、自己調整を促す手立てについても考えました。導入(教材や問題との出会い)の場面では、複線化の場面で子どもたちが課題意識をもち続けられるような工夫を行います。同じように複線化の場面や振り返りの場面でもそれぞれ手立てを工夫し、子どもたちの自己調整力を授業の中で育てていきたいと考えています。



学級	教科	単元名	複線型モデル	本時の授業に関わる個人間差異	自己調整を促すための場面
1-1	国語	くわしくかこう 学習材:「しらせたいな、見せたいな」	C	(2)学習速度	②
1-2				(4)学習スタイル①	②
2-1	国語	おもちゃの作り方を わかりやすくせつめいしよう 学習材:「紙コップ花火の作り方」 「おもちゃの作り方をせつめいしよう」	B	(1)興味・関心	②
2-2				(3)到達度	②
3-1	社会	わたしたちのまちにある工場 ー富士精器工場を訪ねてー	A	(1)興味・関心	①
3-2					
4-1	社会	とどけよう、命の水 ー玉川上水の開発ー	A	(1)興味・関心	①
4-2	理科	わたしたちの体と運動	B	(1)興味・関心 (4)学習スタイル①	②
5-1	社会	自動車の生産にはげむ人々	A	(1)興味・関心	①
5-2	理科	人のたんじょう	B	(1)興味・関心	①
6-1	国語	作品の世界を想像しながら読み、 考えたことを伝え合おう 学習材:「やまなし」 資料:「イーハトーブの夢」	A	(4)学習スタイル①	②
6-2				(4)学習スタイル①	③

げっこうはらこども園(年長組および年少組・年中組)

公開保育

○幼児教育との連携

当日は、げっこうはらこども園の公開保育も行います。年長組と1年生は、架け橋プログラムに基づいた幼児教育と小学校教育の接続を意識した保育・授業を公開します。